※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　芸術科

教科	美術科	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　美術３（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な表現技法や知識の習得を通して、造形的な視点で対象をとらえる力を養いましょう。
・自己の思いや考えを作品に込め、制作の意図を明確にして創造的に表現しましょう。
・生涯にわたって芸術文化を愛好し、心豊かに社会と関わる美的感性を養いましょう。

２　学習の到達目標

・美術の幅広い造形活動を通して、造形的な見方や考え方を働かせ、創造的に表現する技能を身につけている。
・感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成したり、意図や目的に応じて表現方法を創意工夫したりしながら、創造的に発想や構想を練っている。
・主体的に美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や芸術文化と深く関わる資質・能力を養っている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象を捉える造形的な見方を深めている。 ・美術の表現技法や形式について理解し、創造的な技能を身に付けて表現を深めている。 ・日本美術や世界の美術についての知識を深めている。	・感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し、創造的に発想や構想を練っている。 ・意図や目的に応じて創意工夫した表現方法で、効果的に表わしている。 ・道具や素材・表現技法を適切に選び、独創的な表現を試みている。 ・芸術作品や参考作品から、生活や社会の中での美術の働きについて考えを深めている。	・主体的に表現活動や鑑賞活動に取り組み、作品のよさを味わいながら、美的感性を高めている。 ・美術や美術文化を生涯に渡って愛好する豊かな美意識を養おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自然を見つめて	・自然のある風景（鑑賞） ・校舎の風景画制作	a:有名な作家の風景画や親しみのある風景画の鑑賞を通して、造形的な視点で作品を考察する技能を養っている。 b:遠近法などを活用したり、表現技法を工夫したりしながら、校内の風景を創造的に表現している。 c:自他の作品のよさについて感じ取っている。	ワークシート	作品	活動の様子・振り返りシート
	他者に伝えるためのデザイン	・他者に伝えるためのデザイン ・学校行事の看板づくり(共同制作)	a:デザインの意図を理解し、表現に必要な情報を精選している。 b:表現したい内容が伝わるように創意工夫し、制作に取り組んでいる。 c:作品やデザインの与える影響について、共同制作を通して理解している。	アイデアスケッチ	作品	活動の様子
2学期	日本美術と画材	・狩野派・琳派作品の鑑賞 ・日本画画材による表現／水干絵具と箔押し	a:日本の美術の技法や様式について理解を深めている。 b:水干絵の具や箔押しの技法の体験を通して、日本美術への理解を深めている c:日本美術に興味を持ち、美術文化への理解を深めている。	ワークシート	作品	活動の様子
	絵巻物の表現	・絵巻の鑑賞 ・絵巻物の制作	a:絵巻物の表現の決まりについて理解している。 b:絵巻物の形式を活かし、墨などを用いて個性豊かな作品を制作している。 c:日本の興味を持ち、美術文化と主体的に関わる態度を養っている。	ワークシート	作品	活動の様子・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	紙の造形	・紙の立体作品の制作	a:紙を立体に加工する技法について理解を深めている。 b:素材の特性を見極めながら、フォルムを構想し、表現しようとしている。 c:立体造形の面白さに気づき、日常の中のデザインや美術について考察する態度を養っている。	アイデアスケッチ	作品	活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度